

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2022年11月9日時点)

▶ **ウクライナ軍**が東部ルハンスク州・ドネツク州及び南部ヘルソン州の**露軍への反撃を継続**する一方、**露軍**はミサイル、UAVや多連装ロケットによる**民間人や民生インフラへの攻撃を継続**している模様

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

ロシア軍: **死者5937人**(ショイグ国防相発言9月21日)

: **死者約7万7170人**、戦車喪失2786両、装甲車両5654両(「ウ」国防省11月8日)

: **死傷者7~8万人前後**、装甲車両喪失3~4千両(米国防省8月8日)

「ウ」軍: **死者約9千人**(「ウ」軍8月22日)

「ウ」市民: **死者6430人以上、負傷者9865人以上**(国連人権高等弁務官事務所10月31日)

- 10月29日、露外務省は、「ウ」産穀物の黒海経由の輸出に関する合意の履行を無期限停止する旨発表
- 11月2日、露国防省は、**上記合意への復帰**を発表

11月7日、レズニコウ国防相は、**防空ミサイルシステムNASAMSを米及びノルウェーから、アスピーデをスペインからそれぞれ受領した旨**発言

11月7日、スキビツキー「ウ」国防省情報総局報道官は、英エコノミスト紙の取材に対し、**露のイスカンデル(弾道ミサイル型)の残数は約120発**との見方を明らかにする一方、**10月に露が発射した25発のイスカンデル弾道ミサイルのうち、撃墜できたのは3発のみ**であり、「ウ」軍の弾道ミサイルへの対処能力は限られている旨発言

11月7日、露国防省は、**太平洋艦隊第155海軍歩兵旅団(ウラジオストク)の「兵員と装備の無益な大量の損耗」**について露の複数の軍事プロガーが記事にしたことに対し反論するとともに、**同旅団はドネツク州ヴフレダール付近で攻勢を継続**している旨主張

11月5日、「ウ」軍は、**露軍がドニプロ川西岸からの撤退を装う一方、実際には部隊を依然として配置し、防御施設を強化していることから、ヘルソンにおける市街戦を準備している可能性**がある旨発表

11月7日、アンドリュシチェンコ・マリウポリ市長顧問(「ウ」側)は、**露軍が同市の周囲にコンクリート製対戦車障害からなる防衛線の構築を開始した模様**と発言

- 主要都市
- ✈️ 主要軍施設
- 露軍が占領した地点
- 露軍が占領した地域
- ウクライナ軍が奪還した地域

